

鳥取県の条件不利地における
道路整備方針

平成27年度公共事業評価委員会(第1回)
説明資料

国道180号(福長～菅沢工区)付帯意見(抜粋)

本事業の費用便益比は1.20であるが、その内訳は基本便益に係る費用便益比0.22、拡張便益に係る費用便益比0.98となっており基本便益が非常に小さい。これは、当該地域が山間の過疎地帯という条件不利地であることが大きな原因であり、交通量が多くはないが地域の幹線道路という条件下では、他の多くの中山間地域も同様である。

このような中で道路整備を行うには、鳥取県の条件不利地における整備方針をできるだけ明確にし、県民等に提示していくことが必要だと思われる。

2. 中山間地域における道路整備（案）

鳥取県は全面積の86%を山地が占め、狭隘な山間地に多くの集落が存在する。

中山間地域は地理的条件から生活を支える道路や鉄道などのインフラ整備も遅れており、高齢化の進む地域の維持が困難となっている。

中山間地域の維持のためにも必要性や緊急性を勘案して、道路整備を行う必要がある。

中山間地集落の維持

「命を守る道」

「生活を支える道」

「地域を活かす道」

中山間地域における道路整備の整備課所選定の観点

- ・緊急車両通行対策
- ・孤立集落対策
- ・避難路対策

- ・高齢者対策
- ・公共サービス対策
- ・日常生活支援対策

- ・地域活性化取組支援対策
- ・観光・企業誘致対策
- ・道路ボランティア支援対策

3. 過年度事前評価事業の便益

	効果項目	出典
基本 便益	走行時間短縮便益	費用便益分析マニュアル
	走行経費減少便益	費用便益分析マニュアル
	交通事故減少便益	費用便益分析マニュアル
拡張 便益	片側交互通行規制による時間損失	独自設定
	土砂災害等による通行止めの解消	費用便益分析マニュアル
	異常気象時通行不能区間の解消	道路投資の評価に関する指針(案)
	大型車すれ違い困難区間の解消	道路投資の評価に関する指針(案)
	通行危険箇所の解消	道路投資の評価に関する指針(案)
	冬期の速度低下解消	費用便益分析マニュアル
	緊急施設へのアクセス向上	道路投資の評価に関する指針(案)
	季節的に流入する観光客が受ける便益	費用便益分析マニュアル
	公共施設・生活利便施設へのアクセス向上	道路投資の評価に関する指針(案)
	CO2排出量の削減	道路投資の評価に関する指針(案)
	Nox排出量の削減	道路投資の評価に関する指針(案)
	現道対策として必要な防災対策事業費の削減	独自設定
	現道の維持管理費用の削減	独自設定
間接 効果	冬期における買物交流の顕在化	独自設定
	事業者産業収益の向上	独自設定
	観光施設来訪者の増加	独自設定

4. 道路投資の評価に関する指針(案)(抜粋)

表2-2 効果項目別計測対象便益の設定例

大項目	中項目	小項目	設定内容
道路利用 効果	走行快適性の 向上	疲労の軽減	運転者または同乗者の疲労の軽減
		道路からの景観創出	車両内部または道路上から見える景観の美しさの向上
	歩行の安全性 快適性の向上	歩行の安全性向上	歩行者または自転車運転者が感じる安全性または快適性の向上
		歩行の快適性向上	
環境効果	景観	周辺との調和	沿道周辺の自然あるいは都市景観との調和の程度
		新たな地域景観の創出	新たに建設される道路構造物が作り出す警官の美しさの程度
	生態系	沿道地域生態系への影響	沿道地域に生じる生態系への影響の程度
		希少種への影響	当該事業の実施により生じる希少種への影響の程度
		土壌・水環境・地形への影響	沿道地域に生じる土壌・水環境・地形への影響の程度
住民生活 効果	道路空間の利用	ライフライン等の収容	ライフライン整備の負荷の軽減
		防災空間の提供	災害時被害の程度の軽減
		土地利用への影響	沿道建築物の形態規制の解消
	災害時の代替路 確保	災害時交通機能の確保	迂回の不便や心理的不安感の解消
		人的物的被害の低減	走行の危険性回避や落石等事故の発生程度の低減
	生活機会、交流 機会の拡大	レクリエーション施設への アクセス向上	さまざまなレクリエーション施設が利用可能になることによる満足度 の向上
		交流人口の増大	一定時間内に交流できる人の数が増えることによる満足度の向上
		幹線交通アクセス向上	新幹線や空港等が利用できるようになることによる満足度の向上
	公共サービスの 向上	公共施設・生活利便施設へ のアクセス向上	さまざまな施設が利用可能になることによる満足度の向上
		緊急施設へのアクセス向上	緊急時にも生命の危険を回避できるような緊急施設へのアクセスが 確保できることによる満足度の向上
		公共交通の充実	大型車のすれ違いが可能となり、バス路線等が設定できる条件が 整うことによる満足度の向上